秋田県内中小企業景況調査結果

(2020年10~12月期)

秋田県商工会議所連合会

〈内容〉

I. 全産業の項目別DI値

Ⅱ. 産業別DI値

Ⅲ. 地域別DI値

IV. 産業別設備投資

V. 地域別設備投資

VI. 経営上の問題点

Ⅷ~X. 付帯調査

XI. 総括表

※ 景気判断・DI値とは、「増加」・「好転」・「過 剰」したとする企業割合から「減少」・「悪化」・「不 足」したとする企業割合を差し引いた値である。

(▲:マイナス)

≪参考≫県内景況調査に対する各企業のコメント 一覧

〈回収状況〉

業種	対象企業数	有効回答企業数
建設業	40	33 (82.5%)
製造業	40	32 (80.0%)
卸売業	40	31 (77.5%)
小売業	40	34 (85.0%)
サービス業	40	34 (85.0%)
合 計	200	164 (82.0%)

地 域	対象企業数	有効回答企業数
県 北	50	45 (90.0%)
県 央	75	64 (85.3%)
県 南	75	55 (73.3%)

I.全産業の項目別DI値

1. 業況

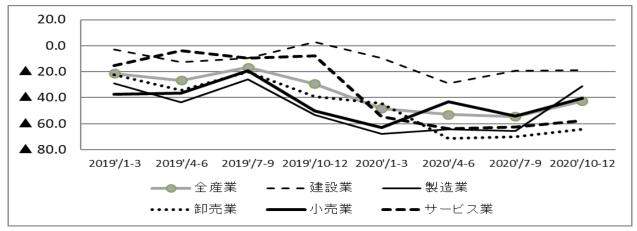
今期(10~12月)の業況 DI 値は、全産業で▲42.5と前期比で改善した。

産業別では、全業種で改善した。特に製造業はプラス 34.4 ポイントと大幅に改善した。これは平成 26 年 7-9 月期の調査開始以来最大の改善幅であった。

来期の見通し(1~3月)は、全産業で▲50.6と今期比で悪化を見通している。

産業別では、<u>卸売業が横ばい、他の4業種も悪化を見通し</u>ている。特に建設業、小売業はそれぞれマイナス 18.7 ポイント、マイナス 13.8 ポイントと大幅な悪化を見通している。

	前期(7	~9月)		今期(10−12月)		
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全 産 業	▲ 54.6	4 46.6	▲ 42.5	12.1	▲ 50.6	-8.1
建設業	▲ 19.4	▲ 21.9	1 8.8	0.6	▲ 37.5	-18.7
製 造 業	▲ 65.7	▲ 56.3	▲ 31.3	34.4	▲ 36.7	-5.4
卸売業	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 64.5	5.5	▲ 64.5	0.0
小 売 業	▲ 54.3	▲ 42.9	4 0.7	13.6	▲ 54.5	-13.8
サービス業	▲ 62.8	▲ 52.8	▲ 57.6	5.2	▲ 59.4	-1.8



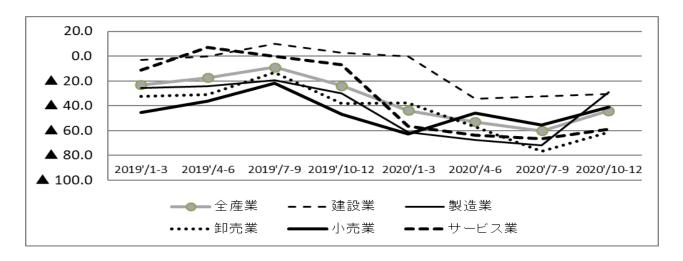
2. 売上額・完成工事額

今期(10~12月)の売上額・完成工事額 DI 値は、全産業で▲44.2 と前期比で大幅に改善した。 産業別では、全業種で改善した。特に製造業はプラス 42.8 ポイントと調査開始以来最大の改善幅であった。

来期の見通し(1~3月)は、全産業で▲54.0と今期比で悪化を見通している。

産業別では、建設業が横ばい、小売業、製造業、卸売業は悪化を見通している。特に小売業、 製造業はそれぞれマイナス32.3ポイント、マイナス25.8ポイントの大幅な悪化を見通す一方、サー ビス業は改善を見通している

	前期(7	前期(7 <u>~9月)</u>		今期(10)−12月)	
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全 産 業	▲ 60.1	▲ 56.0	4 4.2	15.9	▲ 54.0	-9.8
建設業	▲ 32.4	▲ 35.3	▲ 30.3	2.1	▲ 30.3	0.0
製 造 業	▲ 71.8	▲ 62.5	▲ 29.0	42.8	▲ 54.8	-25.8
卸 売 業	▲ 76.6	▲ 56.7	▲ 61.3	15.3	▲ 67.8	-6.5
小 売 業	▲ 55.5	▲ 61.1	▲ 41.2	14.3	▲ 73.5	-32.3
サービス業	▲ 66.6	▲ 63.9	▲ 58.8	7.8	▲ 44.1	14.7



3. 資金繰り

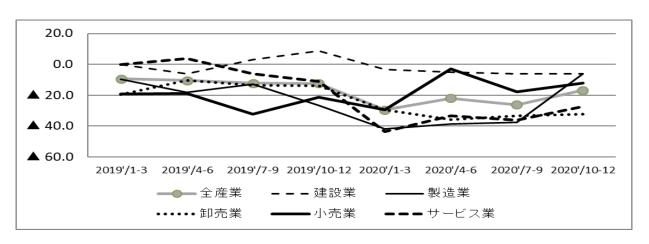
今期(10~12月)の資金繰りDI値は、全産業で▲16.8と前期比で改善した。

産業別では、建設業が横ばい、他の4業種は改善した。特に製造業はプラス31.3ポイントと調査 開始以来最大の改善幅であった。

来期の見通し(1~3月)は、全産業で▲26.8と今期比で悪化を見通している。

産業別では、<u>全業種で悪化を見通し</u>ている。特に<u>製造業はマイナス 19.6 ポイントの大幅な悪化を</u> 見通している。

	前期(7	前期(7~9月)		今期(10)-12月)	
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
_ 全 産 業	▲ 26.2	▲ 33.6	1 6.8	9.4	▲ 26.8	-10.0
建設業	▲ 6.2	▲ 15.7	▲ 6.3	-0.1	▲ 9.3	-3.0
製 造 業	▲ 37.5	▲ 43.8	▲ 6.2	31.3	▲ 25.8	-19.6
卸 売 業	▲ 33.3	▲ 36.7	▲ 32.3	1.0	▲ 35.5	-3.2
小 売 業	▲ 17.7	▲ 32.4	▲ 12.1	5.6	▲ 27.3	-15.2
サービス業	▲ 36.1	▲ 38.8	▲ 27.3	8.8	▲ 36.3	-9.0



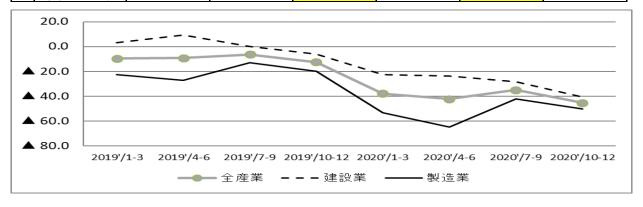
4. 受注残(未消化工事高)

今期(10~12月)の受注残 DI 値は、全産業で▲45.3 と前期比で悪化した。

産業別では、建設業、製造業ともに悪化した。

来期の見通し(1~3月)は、全産業で▲46.7と今期比でわずかながら悪化を見通している。 産業別では、製造業が横ばい、建設業は悪化を見通している。

	前期(7~9月)			今期(10)-12月)	
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全産業	▲ 34.9	▲ 50.0	4 5.3	-10.4	▲ 46.7	-1.4
建設業	▲ 28.2	▲ 56.3	4 0.6	-12.4	▲ 43.7	-3.1
製 造 業	▲ 42.0	▲ 43.7	▲ 50.0	-8.0	▲ 50.0	0.0



5. 採算(経常利益)

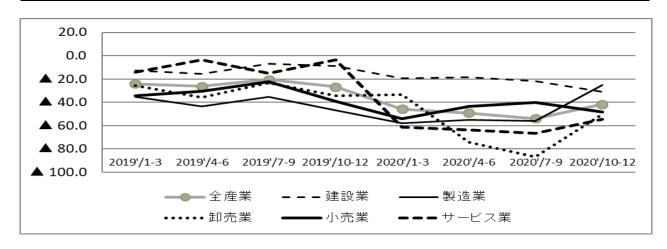
今期(10~12月)の採算 DI 値は、全産業で▲41.8 と前期比で改善した。

産業別では、<u>卸売業、製造業、サービス業で改善</u>した。特に<u>卸売業、製造業はそれぞれプラス 36.7 ポイント、プラス 31.2 ポイントと大幅に改善</u>した。これらは<u>調査開始以来最大の改善幅であっ</u>た。一方、建設業、小売業は悪化した。

来期の見通し(1~3月)は、全産業で▲45.6と今期比で悪化を見通している。

産業別では、<u>製造業、小売業、卸売業で悪化を見通す一方、サービス業、建設業は改善を見通し</u>ている。

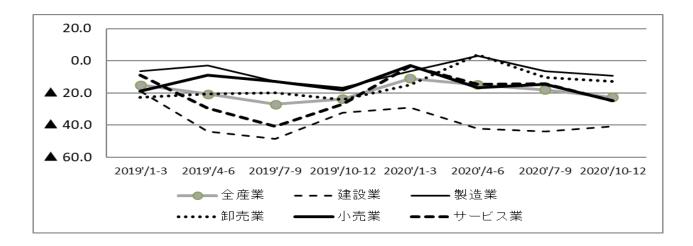
	前期(7	前期(7~9月)		今期(10)-12月)	
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全産業	▲ 53.9	▲ 50.3	▲ 41.8	12.1	▲ 45.6	-3.8
建設業	▲ 21.9	▲ 31.3	▲ 31.2	-9.3	▲ 28.1	3.1
製 造 業	▲ 56.2	▲ 53.1	▲ 25.0	31.2	▲ 41.9	-16.9
卸売業	▲ 86.7	▲ 66.6	▲ 50.0	36.7	▲ 56.7	-6.7
小 売 業	4 0.0	▲ 48.5	▲ 48.5	-8.5	▲ 58.8	-10.3
サービス業	▲ 66.6	▲ 52.8	▲ 54.6	12.0	▲ 42.4	12.2



6. 従業員(含む臨時)

今期(10~12月)の従業員 DI 値は、全産業で<u>▲22.6 と前期比で不足感を拡大</u>した。 産業別では、<u>建設業以外の4業種で不足感を拡大する一方、建設業は不足感を縮小</u>した。 来期の見通し(1~3月)は、全産業で<u>▲16.4 と今期比で不足感の縮小を見通し</u>ている。 産業別では、全業種で不足感の縮小を見通している。

	前期(7~9月)			今期(10)-12月)	
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全 産 業	1 8.0	▲ 18.6	▲ 22.6	-4.6	▲ 16.4	6.2
建設業	▲ 43.8	4 3.8	4 0.6	3.2	▲ 28.1	12.5
製 造 業	▲ 6.5	4 9.4	4 9.3	-2.8	▲ 6.4	2.9
卸売業	▲ 10.4	▲ 10.7	▲ 12.9	-2.5	▲ 3.2	9.7
小 売 業	▲ 14.7	▲ 17.6	▲ 25.0	-10.3	▲ 21.2	3.8
サービス業	▲ 14.3	▲ 11.4	1 25.0	-10.7	▲ 21.8	3.2



Ⅱ. 産業別DI値

1. 建設業

今期(10~12月)のDI値は、業況が▲18.8と前期比でほぼ横ばいとなった。

項目別では、資金繰りが横ばい、完成工事額がわずかながら改善した。一方、受注残、採算は悪化した。従業員は不足感を縮小した。

企業からは、「昨年は完成工事数が多かったため、今年は完成工事額が少ないが、採算は悪いわけではない。主に下請を行なった」【土木工事業】とのコメントがある一方、「人材不足により目標物件が受注できなかった」【一般管工事業】とのコメントがあった。

来期の見通し(1~3月)は、業況が▲37.5と今期比で大幅な悪化を見通している。

項目別では、完成工事額が横ばい、受注残、資金繰りで悪化を見通している。一方、採算は改善を見通している。従業員は大幅な不足感の縮小を見通している。

企業からは、「コロナ禍に影響され、物件が減少されると思う」【一般管工事業】とのコメントがある 一方、「関連企業からの受注工事が増加する見通し」【一般電気工事業】とのコメントがあった。

	前期(7~9月)			今期(10)-12月)	
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
業況	▲ 19.4	▲ 21.9	1 8.8	0.6	▲ 37.5	-18.7
完成工事額	▲ 32.4	▲ 35.3	▲ 30.3	2.1	▲ 30.3	0.0
資金繰り	▲ 6.2	▲ 15.7	▲ 6.3	-0.1	▲ 9.3	-3.0
受注残	▲ 28.2	▲ 56.3	4 0.6	-12.4	▲ 43.7	-3.1
採算(経常利益)	▲ 21.9	▲ 31.3	▲ 31.2	-9.3	▲ 28.1	3.1
従業員(含む臨時)	4 3.8	4 3.8	4 0.6	3.2	▲ 28.1	12.5

2. 製造業

今期(10~12月)のDI値は、業況が▲31.3と前期比で大幅に改善した。

項目別では、売上額、資金繰り、採算が大幅に改善した。一方、受注残は悪化した。従業員はわずかながら不足感を拡大した。

企業からは、「コロナの影響で巣ごもり用に向けた食材等が良かった」【水産物製造・卸売業】とのコメントがある一方、「10月の売上は昨年同月の消費税増税に伴う大幅減の裏返しにより二桁増となったが、11月中旬からの新型コロナウイルス感染再拡大により出荷は悪化。12月は忘年会が軒並み中止、「巣ごもりクリスマス」、料飲店の時短営業、帰省の自粛などにより出荷は低迷。年末年始の稼ぎ時に新型コロナウイルス感染第三波の影響がモロに直撃した形となっている」【清酒製造業】とのコメントがあった。

来期の見通し(1~3月)は、業況が▲36.7と今期比で悪化を見通している。

項目別では、受注残が横ばい、売上額、資金繰りで大幅な悪化を見通している。従業員はわずかながら不足感の縮小を見通している。

企業からは「感染の終息に見切りをつけた飲食店の廃業が増えると考えられる。また、残業代やボーナスが激減して年収が下がった世帯は多いと思われ、今後支出の切り詰めの影響が表れるだろう」【清酒製造業】とのコメントがある一方、「例年と比較して早い時期に受注が確定したので、工程が管理しやすい。コロナ感染者が増加して受注が減少しないか不安である」【金属製品製造業】とのコメントがあった。

	前期(7~9月)			今期(10-12月)		
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
業況	▲ 65.7	▲ 56.3	▲ 31.3	34.4	▲ 36.7	-5.4
売上額	▲ 71.8	▲ 62.5	4 29.0	42.8	▲ 54.8	-25.8
資金繰り	▲ 37.5	▲ 43.8	▲ 6.2	31.3	▲ 25.8	-19.6
受注残	▲ 42.0	▲ 43.7	▲ 50.0	-8.0	▲ 50.0	0.0
採算(経常利益)	▲ 56.2	▲ 53.1	1 25.0	31.2	▲ 41.9	-16.9
従業員(含む臨時)	▲ 6.5	▲ 9.4	▲ 9.3	-2.8	▲ 6.4	2.9

3. 卸売業

今期(10~12月)のDI値は、業況が▲64.5と前期比で改善したが、厳しい状況が続いている。 項目別では、採算、売上額、資金繰りが改善した。特に採算、売上額はそれぞれプラス 36.7 ポイント、プラス 15.3 ポイントと大幅に改善した。従業員はわずかながら不足感を拡大した。

企業からは、「人手不足の中で前年並の売上を確保できたため、一人当たりの売上高は良かった」 【青果・水産物卸】とのコメントがある一方、「全国的な生産過剰による相場の低迷と新型コロナによる飲食業の不振のため売上減少」【鶏卵卸】とのコメントがあった。

来期の見通し(1~3月)は、業況が今期と同数値を見通している。

項目別では、採算、売上額、資金繰りで悪化を見通している。従業員は不足感の縮小の見通しを している。 企業からは、「コロナウイルスの長期化、豪雪による影響が徐々に出てくる」【機械工具卸売業」とのコメントがある一方、「新型コロナの状況及び業界の対応(緊急事態宣言など)により見通しが立たない状況である【青果・水産物卸】とのコメントがあった。

	前期(7	~9月)		今期(10)-12月)	
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
業況	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 64.5	5.5	▲ 64.5	0.0
売上額	▲ 76.6	▲ 56.7	▲ 61.3	15.3	▲ 67.8	-6.5
資金繰り	▲ 33.3	▲ 36.7	▲ 32.3	1.0	▲ 35.5	-3.2
採算(経常利益)	▲ 86.7	▲ 66.6	▲ 50.0	36.7	▲ 56.7	-6.7
従業員(含む臨時)	▲ 10.4	▲ 10.7	▲ 12.9	-2.5	▲ 3.2	9.7

4. 小売業

今期(10~12月)のDI値は、業況が▲40.7と前期比で大幅に改善した。

項目別では、売上額、資金繰りが改善する一方、採算は悪化した。従業員は不足感を拡大した。 企業からは、「12 月の歳末商戦が思いのほか良い。コロナ禍の中、縁遠くなっている方々に贈る 心が反映しているのか。ギフト商材の動きが良い」【茶類小売業】とのコメントがある一方、「冠婚葬 祭が大きく縮小し、収益を大きく下げる結果となった」【生花・造花販売】とのコメントがあった。

来期の見通し(1~3月)は、業況は▲54.5と今期比で大幅な悪化を見通している。

項目別では、売上額、資金繰り、採算で悪化を見通している。特に売上額はマイナス 32.3 ポイントと大幅な悪化の見通しをしている。従業員は不足感の拡大を見通している。

企業からは、「全国的に新型コロナウイルス感染拡大が深刻化している中、メーカーの商品改良等でコンパクトカーを中心に市場が活発化し、一部商品でメーカーの生産が逼迫し、出荷遅れが発生していることに加え、緊急事態宣言等の影響から更に商品の出荷遅れが予測されることから減収・減益を見込む」【自動車小売業】とのコメントがある一方、「今期は前年を上回ったが、コロナ禍における帰省の減少、大雪の影響もあり、来期は通販でカバーすることが難しいのではないか」【酒類・食料品小売】とのコメントがあった。

	前期(7~9月)					
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
業況	▲ 54.3	▲ 42.9	4 0.7	13.6	▲ 54.5	-13.8
売上額	▲ 55.5	▲ 61.1	▲ 41.2	14.3	▲ 73.5	-32.3
資金繰り	▲ 17.7	▲ 32.4	▲ 12.1	5.6	▲ 27.3	-15.2
採算(経常利益)	4 0.0	▲ 48.5	4 8.5	-8.5	▲ 58.8	-10.3
従業員(含む臨時)	▲ 14.7	▲ 17.6	▲ 25.0	-10.3	▲ 21.2	3.8

5. サービス業

今期(10~12月)のDI値は、業況が▲57.6と前期比で改善した。

項目別では、採算、資金繰り、売上額が改善した。従業員は不足感を拡大した。

企業からは、「国産材、亜鉛鉱等の取扱数量の減少、定期傭船(内航海運業)の減少等により、前年同期比で約19%減少となる見込【運輸業】、「落ち込みの大きかった貸し切りバス部門は、秋口に復調してきたが、再度落ち込んでいる状況。高速バスの運休・減便が続き、乗合バス部門も回復レベルにはほど遠い」【運輸業】とのコメントがあった。

来期の見通し(1~3月)は、業況は▲59.4と今期比でわずかながら悪化を見通している。 項目別では、資金繰りが悪化を見通す一方、売上額、採算は改善する見通しをしている。従業員 は不足感の縮小を見通している。

企業からは、「新型コロナの影響は極めて大きく、主力のバス事業の他、付随事業の航空会社からの受託事業も売上低下が著しい。年度決算はかつてない大幅な赤字となる見込である」【運輸業】 とのコメントがある一方、「自動車リース分野の売上増加を見込む」【自動車整備・販売】とのコメントがあった。

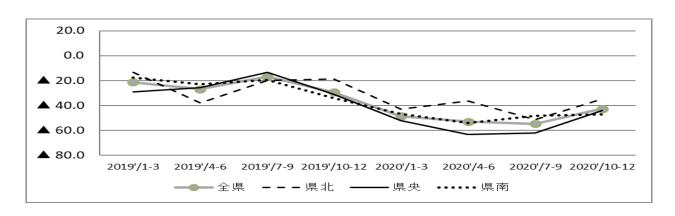
	前期(7	~9月)		今期(10-12月)					
		来期見通		前期比	来期見通	(1~3月)			
		(10~12月)				今期比			
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)			
業況	▲ 62.8	▲ 52.8	▲ 57.6	5.2	▲ 59.4	-1.8			
売上額	▲ 66.6	▲ 63.9	▲ 58.8	7.8	▲ 44.1	14.7			
資金繰り	▲ 36.1	▲ 38.8	▲ 27.3	8.8	▲ 36.3	-9.0			
採算(経常利益)	▲ 66.6	▲ 52.8	▲ 54.6	12.0	▲ 42.4	12.2			
従業員(含む臨時)	▲ 14.3	▲ 11.4	1 25.0	-10.7	▲ 21.8	3.2			

Ⅲ. 地域別DI値

1. 業況

今期(10~12月)のDI値は、前期比で全域が改善した。特に県央、県北が大幅に改善した。 来期の見通し(1~3月)は、今期比で全域の悪化を見通している。

	前期(7	~9月)		今期(10-12月)				
		来期見通		前期比	(1~3月)			
		(10~12月)				今期比		
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)		
全 県	▲ 54.6	4 6.6	42.5	12.1	▲ 50.6	-8.1		
県 北	▲ 51.2	▲ 32.6	▲ 34.8	16.4	▲ 52.2	-17.4		
県 央	▲ 62.1	▲ 52.2	4 3.8	18.3	▲ 49.2	-5.4		
県 南	▲ 48.1	▲ 50.9	4 7.2	0.9	▲ 50.9	-3.7		

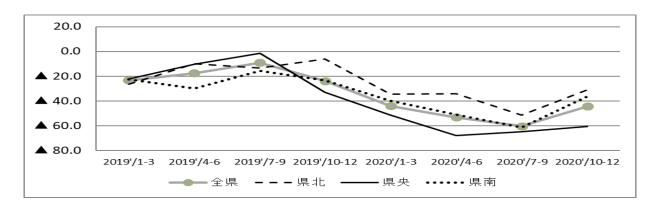


2. 売上額・完成工事額

今期(10~12月)のDI値は、前期比で全域が改善した。特に県南はプラス 25.0 ポイントと調査開始以来最大の改善幅であった。

来期見通し(1~3月)は、今期比で県南、県北が大幅な悪化、県央は改善を見通している。

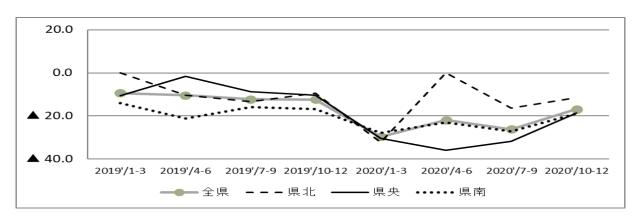
	前期(7	~9月)		今期(10-12月)				
		来期見通		前期比	(1~3月)			
		(10~12月)						
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)		
全 県	▲ 60.1	▲ 56.0	4 4.2	15.9	▲ 54.0	-9.8		
県 北	▲ 51.1	▲ 44.2	▲ 31.1	20.0	▲ 48.9	-17.8		
県 央	▲ 64.7	▲ 58.8	▲ 60.3	4.4	▲ 55.6	4.7		
県 南	▲ 61.4	▲ 61.4	▲ 36.4	25.0	▲ 56.4	-20.0		



3. 資金繰り

今期(10~12月)のDI値は、前期比全域が改善した。 来期見通し(1~3月)は、今期比で全域の悪化を見通している。

	前期(7	~9月)		今期(10-12月)				
		来期見通		前期比	前期比 来期見通(1~			
		(10~12月)				今期比		
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)		
全 県	▲ 26.2	▲ 33.6	▲ 16.8	9.4	▲ 26.8	-10.0		
県 北	▲ 16.3	▲ 25.6	▲ 11.4	4.9	▲ 24.4	-13.0		
県 央	▲ 31.8	4 0.9	▲ 18.7	13.1	▲ 22.5	-3.8		
県 南	▲ 27.2	▲ 30.9	1 8.8	8.4	▲ 33.9	-15.1		

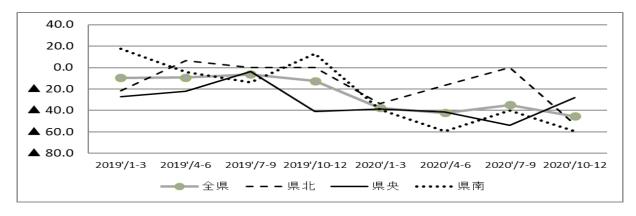


4. 受注残(未消化工事高)

今期(10~12月)のDI値は、前期比で、県北、県南で大幅に悪化した。特に県北はマイナス 52.9 ポイントと調査開始以来最大の悪化であった。一方、県央はプラス 25.8 ポイントと調査開始以来最大の改善であった。

来期見通し(1~3月)は、今期比で県南、県央で悪化、県北は改善を見通している。

	前期(7	~9月)		_ 今期(10-12月)					
		来期見通		前期比	(1~3月)				
		(10~12月)				今期比			
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)			
全 県	▲ 34.9	▲ 50.0	▲ 45.3	-10.4	▲ 46.7	-1.4			
県 北	0.0	1 29.4	▲ 52.9	-52.9	▲ 41.2	11.7			
県 央	▲ 53.8	▲ 61.6	▲ 28.0	25.8	▲ 33.3	-5.3			
県 南	4 0.0	▲ 52.3	▲ 59.1	-19.1	▲ 66.7	-7.6			

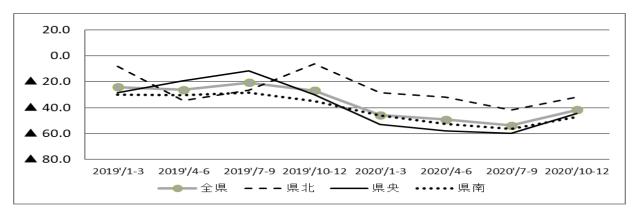


5. 採算(経常利益)

今期(10~12月)のDI値は、前期比で全域が改善した。

来期見通し(1~3月)は、今期比で県北、県南が悪化を見通す一方、県央は改善を見通している。

	前期(7	~9月)		今期(10-12月)				
		来期見通		前期比	i(1~3月)			
		(10~12月)				今期比		
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)		
全 県	▲ 53.9	▲ 50.3	▲ 41.8	12.1	▲ 45.6	-3.8		
県 北	▲ 41.9	▲ 32.6	▲ 31.8	10.1	▲ 42.3	-10.5		
県 央	▲ 59.7	▲ 58.2	4 4.4	15.3	4 0.3	4.1		
県 南	▲ 56.3	▲ 54.6	▲ 47.1	9.2	▲ 54.7	-7.6		

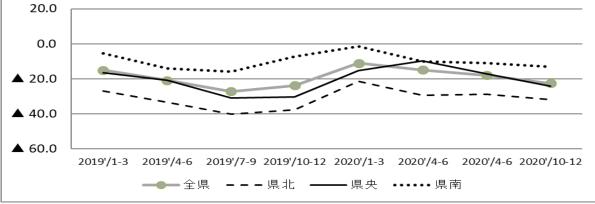


6. 従業員(含む臨時)

今期(10~12月)のDI値は、前期比で全域が不足感を拡大した。

来期見通し(1~3月)は、今期比で県央、県北が不足感の縮小を見込む一方、県南はわずかながら不足感の拡大を見通している。

	前期(7	~9月)	_	今期(10	⊢12月)	
		来期見通		前期比	(1~3月)	
		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全 県	1 8.0	▲ 18.6	▲ 22.6	-4.6	▲ 16.4	6.2
県 北	▲ 28.6	▲ 31.0	▲ 31.8	-3.2	▲ 22.2	9.6
県 央	▲ 17.2	▲ 17.2	▲ 24.2	-7.0	▲ 13.1	11.1
県 南	▲ 10.9	▲ 10.9	▲ 13.2	-2.3	▲ 15.1	-1.9
20.0						



Ⅳ. 産業別設備投資

全産業における今期(10~12月)の設備投資については、「実施した」とする企業は 56 件で、前期 比で4件減少した。

産業別では、「実施した」とする中で最も多かったのは、建設業、製造業、卸売業、サービス業(ともに 12 件)、次いで小売業(8 件)の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(24 件)、次いで「建物・工場・店舗」 (15 件)、「機械・設備・倉庫」(12 件)の順となっている。

来期(1~3月)の計画では、全産業で「計画している」としたのは40件で、今期比で16件減少している。

産業別では、「計画している」とした中で最も多かったのは、製造業(11 件)、次いで小売業、サービス業(ともに 8 件)、卸売業(7 件)の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(18 件)、「機械・設備・倉庫」「OA機器」(ともに8件)、「建物・工場・店舗」(6件)の順となっている。

設備投資状況 (件数)

				前期(7	~9月)				今期(10	~12月)		
					来期の計画	页(10−12月)				来期	の計画(1-	3月)
						計画し					計画し	
			実施し	実施し	計画し	ていな	実施し	実施し		計画し	ていな	
			た	ない	ている	い	た	ない	前期比	ている	い	今期比
			(A)		(B)		(C)		(C-A)	(D)		(D-C)
全	産	業	60	108	45	122	56	108	4	40	124	▲ 16
建	設	業	15	19	10	24	12	21	▲ 3	6	27	▲ 6
製	造	業	14	18	11	20	12	20	▲ 2	11	21	1
卸	売	業	8	22	7	23	12	19	4	7	24	▲ 5
小	売	業	13	23	7	29	8	26	▲ 5	8	26	0
サー	ービス	ス業	10	26	10	26	12	22	2	8	26	4

設備内容(複数回答) (件数)

	全產	産業	建設	2業	製造	<u></u>	卸引	意業	小売業		サーヒ	こス業
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	3	2	0	0	0	1	1	0	0	0	2	1
②建物・工場・店舗	15	6	0	0	4	1	4	2	4	2	3	1
③機械・設備・倉庫	12	8	1	1	7	5	1	0	1	1	2	1
④車両・運搬具	24	18	9	3	3	4	5	3	3	5	4	3
⑤付帯施設	3	5	0	1	0	2	0	0	2	1	1	1
⑥OA機器	11	8	4	2	0	1	3	4	0	0	4	1
⑦福利厚生施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧その他	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合 計	69	47	14	7	14	14	15	9	10	9	16	8

V. 地域別設備投資

今期(10~12 月)の設備投資について、「実施した」企業は、前期比で県北が横ばい、県南が減少、 県央が増加した。

設備投資で最も多いのは、県北で「機械・設備・倉庫」「車両・運搬具」(ともに7件)、県央で「車両・ 運搬具」(14件)、県南で「建物・工場・店舗」(9件)となった。

来期(1~3 月)の設備投資について、「計画している」企業は、今期比で全域が減少を見通している。

「計画している」企業の設備内容で最も多かったのは、県北で「車両・運搬具」(3 件)、県央で「車両・運搬具」(11 件)、県南で「建物・工場・店舗」「車両・運搬具」(ともに 4 件)となっている。

設備投資状況 (件数)

			前期(7	~9月)		今期(10~12月)						
				来期の計	画(7-9月)				来期	の計画(1-	(1-3月)	
					計画し					計画し		
		実施し	実施し	計画し	ていな	実施し	実施し		計画し	ていな		
		た	ない	ている	い	<i>t</i> =	ない	前期比	ている	い	今期比	
		(A)		(B)		(C)		(C-A)	(D)		(D-C)	
全	体	60	108	45	122	56	108	A 4	40	124	▲ 16	
県	北	16	27	9	34	16	29	0	7	38	A 9	
県	央	23	45	18	50	25	39	2	21	43	4	
県	南	21	36	18	38	15	40	A 6	12	43	▲ 3	

設備内容(複数回答)

(件数)

	全	県	県	北	県	央	県	南
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	3	2	1	0	2	1	1	1
②建物・工場・店舗	15	6	2	2	5	1	9	4
③機械・設備・倉庫	12	8	7	2	4	3	2	3
④車両·運搬具	24	18	7	3	14	11	3	4
⑤付帯施設	3	5	0	1	2	4	1	0
⑥OA機器	11	8	2	1	7	5	2	2
⑦福利厚生施設	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧その他	1	0	1	0	0	0	0	0
습 計	69	47	20	9	34	25	18	14

Ⅵ. 経営上の問題点

産業別における「経営上の問題点」は、製造業、卸売業、小売業、サービス業が「需要の停滞」を 第1位に挙げている。建設業は「官公需要の停滞」を第1位に挙げている。

2位以下の項目では、建設業が「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」、製造業が「製品ニーズの変化への対応」「従業員の確保難」「生産設備の不足・老朽化」、卸売業が「販売単価の低下・上昇難」「従業員の確保難」、小売業が「販売単価の低下・上昇難」「仕入単価の上昇」「従業員の確保難」、サービス業が「従業員の確保難」「利用者ニーズの変化への対応」を問題点として挙げており、需要の停滞による売上の伸び悩みや人材不足、販売単価の低下・上昇難、生産設備の不足・老朽化、仕入単価の上昇、製品・利用者ニーズの変化への対応等が経営課題となっていることがうかがえる。

	1.	位		2位	3	位	
建設業	官公需	要の停滞	熟練技術	者の確保難	従業員の確保難		
	21.4%	6件	25.0%	7件	26.1%	6件	
製造業	需要の	の停滞		D変化への対応 の確保難	生産設備の不足・老朽化		
	29.0%	9件	16.7%	5件	26.9%	7件	
卸売業	需要の	の停滞	販売単価 <i>0</i>)低下・上昇難	従業員の確保難		
	48.3%	14件	38.5%	10件	21.7%	5件	
小売業	需要の	の停滞	需要	の停滞	仕入単位	低下・上昇難 西の上昇 の確保難	
	25.0%	8件	24.1%	7件	15.4%	4件	
サービス業	需要の	の停滞		の停滞 の確保難	利用者ニーズの変化への対応		
	41.9%	13件	21.4%	6件	26.1%	6件	

^{※ %}は1位、2位、3位それぞれの回答数(=100%)の割合を示したもの。

参考:1~3 位を累計した場合

	1.	位	2	2位	3	位
建設業	官公需到	要の停滞	熟練技術	者の確保難	 民間需要	要の停滞
	18.3%	15件	15.9%	13件	13.4%	11件
製造業	需要の	の停滞	生産設備の)不足・老朽化	製品ニーズの	変化への対応
	18.4%	16件	16.1%	14件	12.6%	11件
卸売業	需要の	の停滞	販売単価 <i>σ</i>)低下•上昇難	 仕入単値	画の上昇
	25.6%	20件	15.4%	12件	12.8%	10件
小売業	需要の	の停滞	 消費者ニーズ	の変化への対応	販売単価の	低下•上昇難
	17.2%	15件	13.8%	12件	10.3%	9件
サービス業	需要の	の停滞	利用者ニーズ	の変化への対応	従業員の	の確保難
	24.1%	20件	19.3%	16件	15.7%	13件

^{※ %}は1~3位までの総回答数(=100%)の割合を示したもの。

【付帯調査】

◎新型コロナウイルス感染拡大による影響に関する調査

Ⅷ. 業務への影響

・業務への影響について聞いたところ、回答のあった 161 件中、①「影響が続いている」 が 83 件 51.6%、次いで②「経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある」の 67 件 41.6%、③「影響はない」の 11 件 6.8%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比(%)
①影響が続いている	83 (82)	51. 6 (49. 4)
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	67 (69)	41. 6 (41. 6)
③影響はない	11 (15)	6. 8 (9. 0)
合 計	161 (166)	100. 0 (100. 0)

※()は前回調査の数字

Ⅲ. 助成金・給付金の活用(予定を含む)について(複数回答可)

・助成金・給付金の活用(予定を含む)について聞いたところ、回答のあった 161 社(262件)中、①「国の持続化給付金」が 71 件 27.1%、次いで③「国の雇用調整助成金」の 30 件 11.5%、⑦「市の感染拡大防止協力金」の 25 件 9.5%の順となった。なお、⑩「活用していない」も 61 件 23.3%あった。

選択肢	件数	構成比(%)
① 国の持続化給付金	71	27. 1
② 国の持続化補助金	11	4. 2
③ 国の雇用調整助成金	30	11. 5
④ 国の家賃支援給付金	12	4. 6
⑤ 県の感染拡大防止協力金	12	4. 6
⑥ 県の雇用維持支援金	15	5. 7
⑦ 市の感染拡大防止協力金	25	9. 5
⑧ 市の感染対策地域産業支援事業	19	7. 3
9 その他	6	2. 3
⑩ 活用(予定)していない	61	23. 3

〇その他のコメント

- ・卸売業
 - ・市の事業資金あっせん制度(マル市)(雑貨)
 - ・「新しい生活様式」に対応した店づくり補助金(飲料品)
 - ・コロナ特別貸付(青果)

· 小売業

- ・市の持続化給付金 (タイヤ)
- 市の持続化補助金(金物)
- ・市の持続化給付金(食品)

IX. 行政等に望む支援策について(複数回答可)

・行政等に望む支援策について聞いたところ、回答のあった 161 社(424 件) 中、①「補助金・給付金の拡大」が 73 件 17. 2%、次いで⑨「法人税の軽減税率(15%)の延長・恒久化」の 61 件 14. 4%、②「補助金等の申請手続の簡素化」の 50 件 11. 8%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比(%)
①補助金・給付金の拡大	73	17. 2
②補助金等の申請手続の簡素化	50	11.8
③消費活動を促す施策・イベント	28	6. 6
④運転資金支援	36	8. 5
⑤感染抑止を目的とする機器購入支援	24	5. 7
⑥消毒液等の物資確保支援	9	2. 1
⑦設備投資や販路開拓支援制度	33	7. 8
⑧テレワークや在宅勤務の導入支援制度	9	2. 1
⑨法人税の軽減税率(15%)の延長・恒久化	61	14. 4
⑩中小・中堅企業のビジネスモデルの変革を後押しする 税制措置	20	4. 7
①中小企業向け設備投資減税、研究開発税制、所得拡大 促進税制の延長・拡充・条件緩和	39	9. 2
⑫デジタル化の促進	18	4. 2
③その他	9	2. 1
⑭該当なし	15	3. 5

〇その他のコメント

• 建設業

- ・若者入社に対しての長期支援金 (一般土木建築工事)
- 公共工事発注の継続(一般電気工事)

製造業

- 消費税減税 (婦人服)
- ・秋田市だけが行なっている事業所税の廃止(印刷業)
- ・スピード(全ての業務において)(金属製品)

・小売業

- ・消費税を一定期間免税にする(花・植木)
- ・飲食店などには手厚い補償があるが、我々生花業も飲食店が正常にならなければ大きく収益を戻せない。対象を広げてほしい(生花・造花)

サービス業

- ・コロナ対策支援金、補助金の要件緩和(IT関連)
- ・借入金に対する利息・負担をなしにするか補填の拡大・延長(保険代理業)

X. その他の意見・要望(自由記述)

建設業

- ・外国人に対しての言葉等の支援(一般土木建築工事)
- ・コロナが早く終息するよう願う (一般土木建築工事)
- ・コロナが終息しなければ何も始まらないので、それに向けた事業を重点的に実施してほしい(飲食・イベントの制限等)(建設工事)

・製造業

・アンケートなどは goog le フォームを使った方が書く、FAX する手間が省けるし、集計作業の時間も圧倒的に時短になるので考えてほしい。FAX しかできない人もいるので両方できるように(印刷業)

小売業

- ・物販に対しても割引商品券の発行などの支援策を行なってほしい (婦人靴)
- ・とにかく新型コロナウイルスワクチンの投与を急いでほしい。現政府のコロナ対策はあまりにお粗末。菅総理の責任は大きい(茶)
- ・消費税、酒税、たばこ税などを免税にして消費を促す(花・植木)
- ・コロナが止まらないと何年も続く。倒産するまでかんばる (酒類)

サービス業

- ・極めて影響の大きい企業に対して個別直接的な支援をお願いしたい (結婚式場)
- ・県や市のプレミアム飲食券事業等の継続・拡大を望む(食堂)
- ・何とか現状維持できるようにしているが、なかなか新規の仕事が増えず苦戦している。それに大雪のため活動の低下、停止があるので先行き不安である(保険代理業)

XI. 総括表

秋田県内中小企業景況調査 全産業別景気判断比較表(DI値)

(第3四半期:2020年10月~12月)

(▲マイナス)

					業	況				5	·上額·完	成工事額					資金	繰り	·	1777
			前期(7~9月)		今期(10	~12月)		前期(7~9月)		今期(10	~12月)		前期(7~9月)		今期(10	~12月)	
				来期見通		前期比	来期	見通		来期見通		前期比	来期	見通		来期見通		前期比	来期	見通
				(10~12月)				今期比		(10~12月)				今期比		(10~12月)				今期比
			(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
	全座	全 業	▲ 54.6	▲ 46.6	▲ 42.5	12.1	▲ 50.6	-8.1	▲ 60.1	▲ 56.0	▲ 44.2	15.9	▲ 54.0	-9.8	▲ 26.2	▲ 33.6	▲ 16.8	9.4	▲ 26.8	-10.0
3	建言	殳 業	▲ 19.4	▲ 21.9	▲ 18.8	0.6	▲ 37.5	-18.7	▲ 32.4	▲ 35.3	▲ 30.3	2.1	▲ 30.3	0.0	▲ 6.2	▲ 15.7	▲ 6.3	-0.1	▲ 9.3	-3.0
4	製道	告 業	▲ 65.7	▲ 56.3	▲ 31.3	34.4	▲ 36.7	-5.4	▲ 71.8	▲ 62.5	▲ 29.0	42.8	▲ 54.8	-25.8	▲ 37.5	▲ 43.8	▲ 6.2	31.3	▲ 25.8	-19.6
Í	即号	も業	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 64.5	5.5	▲ 64.5	0.0	▲ 76.6	▲ 56.7	▲ 61.3	15.3	▲ 67.8	-6.5	▲ 33.3	▲ 36.7	▲ 32.3	1.0	▲ 35.5	-3.2
/	小号	も業	▲ 54.3	▲ 42.9	4 0.7	13.6	▲ 54.5	-13.8	▲ 55.5	▲ 61.1	▲ 41.2	14.3	▲ 73.5	-32.3	▲ 17.7	▲ 32.4	▲ 12.1	5.6	▲ 27.3	-15.2
-	ナーヒ	ごス業	▲ 62.8	▲ 52.8	▲ 57.6	5.2	▲ 59.4	-1.8	▲ 66.6	▲ 63.9	▲ 58.8	7.8	▲ 44.1	14.7	▲ 36.1	▲ 38.8	▲ 27.3	8.8	▲ 36.3	-9.0

			受	注残(未消	化工事高)				採算(経	常利益)				1	従業員(含	さむ臨時)		
		前期(7~9月)		今期(10	~12月)		前期(7~9月)		今期(10	~12月)		前期(7~9月)		今期(10	~12月)	
			来期見通		前期比	来期	見通		来期見通		前期比	来期	見通		来期見通		前期比	来期	見通
			(10~12月)				今期比		(10~12月)				今期比		(10~12月)				今期比
		(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全	産業	▲ 34.9	▲ 50.0	▲ 45.3	-10.4	▲ 46.7	-1.4	▲ 53.9	▲ 50.3	▲ 41.8	12.1	▲ 45.6	-3.8	▲ 18.0	▲ 18.6	▲ 22.6	-4.6	▲ 16.4	6.2
建	設 業	▲ 28.2	▲ 56.3	▲ 40.6	-12.4	▲ 43.7	-3.1	▲ 21.9	▲ 31.3	▲ 31.2	-9.3	▲ 28.1	3.1	▲ 43.8	▲ 43.8	▲ 40.6	3.2	▲ 28.1	12.5
製:	造 業	▲ 42.0	▲ 43.7	▲ 50.0	-8.0	▲ 50.0	0.0	▲ 56.2	▲ 53.1	▲ 25.0	31.2	▲ 41.9	-16.9	▲ 6.5	▲ 9.4	▲ 9.3	-2.8	▲ 6.4	2.9
卸	売 業	_	_	1	_	_	_	▲ 86.7	▲ 66.6	▲ 50.0	36.7	▲ 56.7	-6.7	▲ 10.4	▲ 10.7	▲ 12.9	-2.5	▲ 3.2	9.7
小	売 業		_		_	_	_	4 0.0	▲ 48.5	▲ 48.5	-8.5	▲ 58.8	-10.3	▲ 14.7	▲ 17.6	▲ 25.0	-10.3	▲ 21.2	3.8
サー	ビス業	_	_	_	_	_	_	▲ 66.6	▲ 52.8	▲ 54.6	12.0	▲ 42.4	12.2	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 25.0	-10.7	▲ 21.8	3.2

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第3四半期:2020年10月~12月)

1. 今期の状況

	 項 目	業	ŧ ;	兄	売上額	•完成	工事額	資	金 繰	IJ	受注残	(未消化	工事高)	採算	〔(経常和	刊益)	従業.	員(含む	臨時)
業種		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
	実数	17	58	85	29	33	101	10	114	37	4	27	33	18	57	85	13	97	49
全産業	%	10.6	36.3	53.1	17.8	20.2	62.0	6.2	70.8	23.0	6.3	42.2	51.6	11.3	35.6	53.1	8.2	61.0	30.8
	DI		▲ 42.5			4 4.2			▲ 16.8			▲ 45.3			▲ 41.8			▲ 22.6	
	実数	4	18	10	8	7	18	1	28	3	2	15	15	3	16	13	0	19	13
建設業	%	12.5	56.3	31.3	24.2	21.2	54.5	3.1	87.5	9.4	6.3	46.9	46.9	9.4	50.0	40.6	0.0	59.4	40.6
	DI		1 8.8			▲ 30.3			▲ 6.3			4 0.6			▲ 31.2			▲ 40.6	
	実数	4	14	14	6	10	15	2	26	4	2	12	18	5	14	13	6	17	9
製造業	%	12.5	43.8	43.8	19.4	32.3	48.4	6.3	81.3	12.5	6.3	37.5	56.3	15.6	43.8	40.6	18.8	53.1	28.1
	DI		▲ 31.3			4 29.0			▲ 6.2			▲ 50.0			▲ 25.0			▲ 9.3	
	実数	0	11	20	3	6	22	0	21	10				2	11	17	2	23	6
卸売業	%	0.0	35.5	64.5	9.7	19.4	71.0	0.0	67.7	32.3				6.7	36.7	56.7	6.5	74.2	19.4
	DI		▲ 64.5			▲ 61.3			▲ 32.3						▲ 50.0			▲ 12.9	
	実数	5	9	18	8	4	22	4	21	8				4	9	20	0	24	8
小売業	%	15.6	28.1	56.3	23.5	11.8	64.7	12.1	63.6	24.2				12.1	27.3	60.6	0.0	75.0	25.0
	DI		4 0.7			▲ 41.2			▲ 12.1						▲ 48.5			▲ 25.0	
	実数	4	6	23	4	6	24	3	18	12				4	7	22	5	14	13
サービス業	%	12.1	18.2	69.7	11.8	17.6	70.6	9.1	54.5	36.4				12.1	21.2	66.7	15.6	43.8	40.6
	DI		▲ 57.6			▲ 58.8			▲ 27.3						▲ 54.6			▲ 25.0	

[※] DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第3四半期:2020年10月~12月)

2. 来期の見通し

項	目	業	ŧ ;	兄	売上額	- 完成	工事額	資	金 繰	IJ	受注残	(未消化	工事高)	採算	〔経常和	益)	従業	員(含む	臨時)
業種		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
	実数	11	56	91	17	41	105	6	105	49	4	25	33	12	63	85	18	97	44
全産業	%	7.0	35.4	57.6	10.4	25.2	64.4	3.8	65.6	30.6	6.5	40.3	53.2	7.5	39.4	53.1	11.3	61.0	27.7
	DI		▲ 50.6			▲ 54.0			▲ 26.8			▲ 46.7			▲ 45.6			▲ 16.4	
	実数	2	16	14	6	11	16	2	25	5	3	12	17	3	17	12	2	19	11
建設業	%	6.3	50.0	43.8	18.2	33.3	48.5	6.3	78.1	15.6	9.4	37.5	53.1	9.4	53.1	37.5	6.3	59.4	34.4
	DI		▲ 37.5			▲ 30.3			▲ 9.3			▲ 43.7			▲ 28.1			▲ 28.1	
	実数	3	13	14	3	8	20	2	19	10	1	13	16	2	14	15	6	17	8
製造業	%	10.0	43.3	46.7	9.7	25.8	64.5	6.5	61.3	32.3	3.3	43.3	53.3	6.5	45.2	48.4	19.4	54.8	25.8
	DΙ		▲ 36.7			▲ 54.8			▲ 25.8			▲ 50.0			▲ 41.9			▲ 6.4	
	実数	1	9	21	1	8	22	0	20	11				0	13	17	3	24	4
卸売業	%	3.2	29.0	67.7	3.2	25.8	71.0	0.0	64.5	35.5				0.0	43.3	56.7	9.7	77.4	12.9
	DΙ		▲ 64.5			▲ 67.8			▲ 35.5						▲ 56.7			▲ 3.2	
	実数	2	11	20	2	5	27	0	24	9				2	10	22	1	24	8
小売業	%	6.1	33.3	60.6	5.9	14.7	79.4	0.0	72.7	27.3				5.9	29.4	64.7	3.0	72.7	24.2
	DΙ		▲ 54.5			▲ 73.5			▲ 27.3						▲ 58.8			▲ 21.2	
	実数	3	7	22	5	9	20	2	17	14				5	9	19	6	13	13
サービス業	%	9.4	21.9	68.8	14.7	26.5	58.8	6.1	51.5	42.4				15.2	27.3	57.6	18.8	40.6	40.6
	DΙ		▲ 59.4			▲ 44.1			▲ 36.3						▲ 42.4			▲ 21.8	

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査 地域別景気判断比較表(DI値)

(第3四半期:2020年10月~12月)

(▲マイナス)

			業	況					売上額·完	成工事額					資金	繰り		
	前期(7	'~9月)		今期(10	~12月)		前期(7	'~9月)		今期(10	~12月)		前期(7	~9月)		今期(10	~12月)	
		来期見通		前期比	来期	見通		来期見通		前期比	来期	見通		来期見通		前期比	来期	見通
		(10~12月)				今期比		(10~12月)				今期比		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全 県	▲ 54.6	▲ 46.6	▲ 42.5	12.1	▲ 50.6	-8.1	▲ 60.1	▲ 56.0	▲ 44.2	15.9	▲ 54.0	-9.8	▲ 26.2	▲ 33.6	▲ 16.8	9.4	▲ 26.8	-10.0
県 北	▲ 51.2	▲ 32.6	▲ 34.8	16.4	▲ 52.2	-17.4	▲ 51.1	▲ 44.2	▲ 31.1	20.0	▲ 48.9	-17.8	▲ 16.3	▲ 25.6	▲ 11.4	4.9	▲ 24.4	-13.0
県 央	▲ 62.1	▲ 52.2	▲ 43.8	18.3	▲ 49.2	-5.4	▲ 64.7	▲ 58.8	▲ 60.3	4.4	▲ 55.6	4.7	▲ 31.8	▲ 40.9	▲ 18.7	13.1	▲ 22.5	-3.8
県 南	▲ 48.1	▲ 50.9	▲ 47.2	0.9	▲ 50.9	-3.7	▲ 61.4	▲ 61.4	▲ 36.4	25.0	▲ 56.4	-20.0	▲ 27.2	▲ 30.9	▲ 18.8	8.4	▲ 33.9	-15.1

		受	注残(未活	肖化工事高	哥)				採算(経	常利益)					従業員(1	含む臨時)		
	前期(7	'~9月)		今期(10	~12月)		前期(7	~9月)		今期(10	~12月)		前期(7	~9月)		今期(10	~12月)	
		来期見通		前期比	来期	見通		来期見通		前期比	来期	見通		来期見通		前期比	来期	見通
		(10~12月)		今期比				(10~12月)				今期比		(10~12月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全 県	▲ 34.9	▲ 50.0	▲ 45.3	-10.4	▲ 46.7	-1.4	▲ 53.9	▲ 50.3	▲ 41.8	12.1	▲ 45.6	-3.8	▲ 18.0	▲ 18.6	▲ 22.6	-4.6	▲ 16.4	6.2
県 北	0.0	▲ 29.4	▲ 52.9	-52.9	▲ 41.2	11.7	▲ 41.9	▲ 32.6	▲ 31.8	10.1	▲ 42.3	-10.5	▲ 28.6	▲ 31.0	▲ 31.8	-3.2	▲ 22.2	9.6
県 央	▲ 53.8	▲ 61.6	▲ 28.0	25.8	▲ 33.3	-5.3	▲ 59.7	▲ 58.2	▲ 44.4	15.3	▲ 40.3	4.1	▲ 17.2	▲ 17.2	▲ 24.2	-7.0	▲ 13.1	11.1
県南	▲ 40.0	▲ 52.3	▲ 59.1	-19.1	▲ 66.7	-7.6	▲ 56.3	▲ 54.6	▲ 47.1	9.2	▲ 54.7	-7.6	▲ 10.9	▲ 10.9	▲ 13.2	-2.3	▲ 15.1	-1.9

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果 (地域別比較表)

(第3四半期:2020年10月~12月)

1. 今期の状況

項	目	業	美 3	兄	売上額	∮•完成.	工事額	資	金 繰	IJ	受注残	(未消化)	工事高)	採算	(経常和	刊益)	従業!	員(含む	臨時)
業種		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
	実数	17	58	85	29	33	101	10	114	37	4	27	33	18	57	85	13	97	49
全県	%	10.6	36.3	53.1	17.8	20.2	62.0	6.2	70.8	23.0	6.3	42.2	51.6	11.3	35.6	53.1	8.2	61.0	30.8
	DΙ		▲ 42.5			4 4.2			▲ 16.8			▲ 45.3			▲ 41.8			▲ 22.6	
	実数	7	22	35	8	9	46	4	44	16	4	10	11	8	19	36	5	37	20
秋田	%	10.9	34.4	54.7	12.7	14.3	73.0	6.3	68.8	25.0	16.0	40.0	44.0	12.7	30.2	57.1	8.1	59.7	32.3
	DΙ		▲ 43.8			▲ 60.3			▲ 18.7			▲ 28.0			4 4.4			▲ 24.2	
	実数	2	6	11	5	7	9	0	15	5	0	5	3	3	7	10	1	7	12
大館	%	10.5	31.6	57.9	23.8	33.3	42.9	0.0	75.0	25.0	0.0	62.5	37.5	15.0	35.0	50.0	5.0	35.0	60.0
	DΙ		▲ 47.4			▲ 19.1			▲ 25.0			▲ 37.5			▲ 35.0			▲ 55.0	
	実数	4	10	10	5	4	15	3	18	3	0	3	6	4	9	11	2	17	5
能代	%	16.7	41.7	41.7	20.8	16.7	62.5	12.5	75.0	12.5	0.0	33.3	66.7	16.7	37.5	45.8	8.3	70.8	20.8
	DΙ		▲ 25.0			▲ 41.7			0.0			▲ 66.7			▲ 29.1			▲ 12.5	
	実数	0	4	10	2	3	9	0	12	2	0	3	3	0	6	8	2	8	4
大曲	%	0.0	28.6	71.4	14.3	21.4	64.3	0.0	85.7	14.3	0.0	50.0	50.0	0.0	42.9	57.1	14.3	57.1	28.6
	DΙ		▲ 71.4			▲ 50.0			▲ 14.3			▲ 50.0			▲ 57.1			▲ 14.3	
	実数	4	8	8	7	5	8	3	12	5	0	3	6	3	8	9	2	11	7
横手	%	20.0	40.0	40.0	35.0	25.0	40.0	15.0	60.0	25.0	0.0	33.3	66.7	15.0	40.0	45.0	10.0	55.0	35.0
	DΙ		▲ 20.0			▲ 5.0			▲ 10.0			▲ 66.7			▲ 30.0			▲ 25.0	
	実数	0	8	11	2	5	14	0	13	6	0	3	4	0	8	11	1	17	1
湯沢	%	0.0	42.1	57.9	9.5	23.8	66.7	0.0	68.4	31.6	0.0	42.9	57.1	0.0	42.1	57.9	5.3	89.5	5.3
	DΙ		▲ 57.9			▲ 57.2			▲ 31.6			▲ 57.1			▲ 57.9			0.0	

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果 (地域別比較表)

(第3四半期:2020年10月~12月)

2. 来期の見通し

項	目	業	美 儿	兄	売上額	• 完成.	工事額	資	金 繰	IJ	受注残	(未消化:	工事高)	採算	〔経常和	引益)	従業!	員(含む	臨時)
業種		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
	実数	11	56	91	17	41	105	6	105	49	4	25	33	12	63	85	18	97	44
全県	%	7.0	35.4	57.6	10.4	25.2	64.4	3.8	65.6	30.6	6.5	40.3	53.2	7.5	39.4	53.1	11.3	61.0	27.7
	DI		▲ 50.6			▲ 54.0			▲ 26.8			▲ 46.7			▲ 45.6			▲ 16.4	
	実数	7	17	37	8	12	43	5	38	19	4	8	12	7	23	32	8	37	16
秋田	%	11.5	27.9	60.7	12.7	19.0	68.3	8.1	61.3	30.6	16.7	33.3	50.0	11.3	37.1	51.6	13.1	60.7	26.2
	DΙ		▲ 49.2			▲ 55.6			▲ 22.5			▲ 33.3			4 0.3			▲ 13.1	
	実数	0	8	13	3	7	11	0	13	8	0	5	3	2	8	11	2	10	9
大館	%	0.0	38.1	61.9	14.3	33.3	52.4	0.0	61.9	38.1	0.0	62.5	37.5	9.5	38.1	52.4	9.5	47.6	42.9
	DI		▲ 61.9			▲ 38.1			▲ 38.1			▲ 37.5			▲ 42.9			▲ 33.4	
	実数	1	11	11	0	10	14	0	21	3	0	5	4	0	14	10	2	17	5
能代	%	4.3	47.8	47.8	0.0	41.7	58.3	0.0	87.5	12.5	0.0	55.6	44.4	0.0	58.3	41.7	8.3	70.8	20.8
	DI		▲ 43.5			▲ 58.3			▲ 12.5			4 4.4			▲ 41.7			▲ 12.5	
	実数	1	4	9	2	1	11	0	12	2	0	1	5	1	3	10	2	6	6
大曲	%	7.1	28.6	64.3	14.3	7.1	78.6	0.0	85.7	14.3	0.0	16.7	83.3	7.1	21.4	71.4	14.3	42.9	42.9
	DI		▲ 57.2			▲ 64.3			▲ 14.3			▲ 83.3			▲ 64.3			▲ 28.6	
	実数	2	7	11	3	6	11	1	11	8	0	2	6	2	8	10	3	11	6
横手	%	10.0	35.0	55.0	15.0	30.0	55.0	5.0	55.0	40.0	0.0	25.0	75.0	10.0	40.0	50.0	15.0	55.0	30.0
	DΙ		▲ 45.0			4 0.0			▲ 35.0			▲ 75.0			4 0.0			▲ 15.0	
	実数	0	9	10	1	5	15	0	10	9	0	4	3	0	7	12	1	16	2
湯沢	%	0.0	47.4	52.6	4.8	23.8	71.4	0.0	52.6	47.4	0.0	57.1	42.9	0.0	36.8	63.2	5.3	84.2	10.5
	DΙ		▲ 52.6			▲ 66.6			▲ 47.4			4 2.9			▲ 63.2			▲ 5.2	

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

県内景況調査に対する各企業のコメント

I 今期の特徴(2020年10~12月)

1 建 設 業	
・完成時期が伸びていて、来期にズレ込む工事が出てきた【一般土木建築工事業】	
・昨年は完成工事数が多かったため、今年は完成工事額が少ないが、採算は悪いわけではない。主に下請を行なった【土木工事業】	
・前期に完成工事額が上がったため、今期は減少した【塗装工事業】	県央
・再エネ関連工事が増加した【一般電気工事業】	
・人材不足により目標物件が受注できなかった【一般管工事業】	
・囚手不足【一般電気工事業】	

2 製造業	
・10月の売上は昨年同月の消費税増税に伴う大幅減の裏返しにより二桁増となったが、11月中旬からの新型コロナウイルス感染再拡大により出荷は悪化。12月は忘年会が軒並み中止、「巣ごもりクリスマス」、料飲店の時短営業、帰省の自粛などにより出荷は低迷。年末年始の稼ぎ時に新型コロナウイルス感染第三波の影響がモロに直撃した形となっている【清酒製造業】	
・コロナの影響で巣ごもり用に向けた食材等が良かった【水産物製造・卸売業】	
・新型コロナウイルスの影響が大である【婦人服製造業】	県央
・国より4,000万円借入した【杉箱製造業】	
・観光・イベント関連の受注減少が大きく、回復までに相応の期間を要する【印刷業】	
・10月以降は順調に受注が回復してきている【金属製品製造業】	
・需給バランスが崩れ、製品価格が低迷した【金属製品製造業】	
・家飲み需要が増加し、売上増加【清酒製造業】	県北
・売上時期をスライドさせ売上増加【花火製造】	
・収益性の悪い物件への納入が多く減収・減益が続いている【コンクリート】	県南

3 卸売業	
・売上、経費ともに減少のため利益は微妙【その他の食料・飲料卸売業】	
・コロナの影響で需要が停滞している【電気事務機械器具卸売業】	県央
・売上が毎年下がってきている(今期も)【家庭用電気機械器具卸売業】	
・人手不足の中で前年並の売上を確保できたため、一人当たりの売上高は良かった【青果・水産物卸】	
・全国的な生産過剰による相場の低迷と新型コロナによる飲食業の不振のため売上減少【鶏卵卸】	県北
・新型コロナウイルスの影響で業務用食材が売れない【清涼飲料卸売業】	

4 小売業	
・新型コロナウイルス感染の中、当店にはコロナとは関係なくお客様が多く来店し、売上増となった【時計小売業】	
・客数減少により売上ダウンが続いており、回復の兆しが見込めない【婦人靴小売業】	
・帰省客の減少が売上減少につながった【食肉小売業】	
・12月の歳末商戦が思いのほか良い。コロナ禍の中、縁遠くなっている方々に贈る心が反映しているのか。ギフト 商材の動きが良い【茶類小売業】	県央
・昨年の消費税増税の影響が出ている【自動車部品】	
・県内では新型コロナウイルスの影響が減少し、メーカーの商品改良等が相次いでいることから市場が活発化傾向にあり、商品の出荷遅れや販売価格の低下はあるものの、昨年の消費税増税直後の落ち込みが大きかった分、増収・増益となった【自動車小売業】	
・コロナの影響で葬儀・ブライダル関係が落ち込んでいる【花・植木小売業】	
・冠婚葬祭が大きく縮小し、収益を大きく下げる結果となった【生花・造花販売】	
・コロナ禍によりおみやげ品、冠婚葬祭の引菓子の売上は減ったが、日常の食べるお菓子の売上は増加した【菓子製造販売】	県北
・コロナで売上下降が止まらない【酒類販売】	
・減収・減益【燃料小売業】	
・コロナ禍において、飲食店への酒類の売上減少が続いているが、食品の通販がそれをカバーしながら推移している【酒類・食料品小売】	県南

5 サービス業	
・顧客(特に個人)からの注文不足で何も検討できない状況である【普通洗濯業】	県央
・依然としてコロナ禍の影響を受け、売上が減少している【ビルメンテナンス業】	
・落ち込みの大きかった貸し切りバス部門は、秋口に復調してきたが、再度落ち込んでいる状況。高速バスの運休・減便が続き、乗合バス部門も回復レベルにはほど遠い【運輸業】	
・国産材、亜鉛鉱等の取扱数量の減少、定期傭船(内航海運業)の減少等により、前年同期比で約19%減少となる見込【運輸業】	
・コロナのおかげで売上は前年の2割【日本料理店】	
・新型コロナウイルスによる売上減少【食堂】	県北
・コロナ禍で全般的に不調。消費低迷【IT関連】	宗 北
・10月にイベントがなくなり、その分売上、利益ともに減少した【広告代理店】	県南

Ⅲ来期の見通し(2021年1~3月)

1 建 設 業	
・今期と同様の状況を見込む【一般土木建築工事業】	
・冬期で動きが毎年悪い【一般土木建築工事業】	
・予定の工事がない状態で見通しが暗い【土木工事業】	県央
・NTT関連工事が増加する見通し【一般電気工事業】	一
・コロナ禍に影響され、物件が減少されると思う【一般管工事業】	
・人手不足が続く見通し【一般電気工事業】	
・工事額が大幅に少なく、大変な悪化と思われる【建設工事】	県北

2 製 造 業	
・感染の終息に見切りをつけた飲食店の廃業が増えると考えられる。また、残業代やボーナスが激減して年収が下がった世帯は多いと思われ、今後支出の切り詰めの影響が表れるだろう【清酒製造業】	
・今期と同じと思うが、秋田はまだコロナの影響が少ないので環境としては良い方だと思う【水産物製造・卸売業】	
・服が売れない【婦人服製造業】	県央
・コロナの影響による売上減少を見込む【杉箱製造業】	
・例年と比較して早い時期に受注が確定したので、工程が管理しやすい。コロナ感染者が増加して受注が減少しないか不安である【金属製品製造業】	
・引き続き売上額が低迷しそう【金属製品製造業】	
・先行き不透明【清酒製造業】	県北
・様子を見ながら稼働していく【花火製造】	
・コロナ禍で発注を控える工事があり、予定が一部変更となる見通しである【コンクリート製造】	県南
・先が見通せない。今後に不安【漬物】	

3 卸 売 業	
・お土産市場が不透明なため、予測ができない状況である【その他の食料・飲料卸売業】	
・Ⅲ導入補助金など売上につながる制度に期待する【電気事務機械器具卸売業】	県央
・店主の高齢化が進み、店舗を閉めるという不安がある【家庭用電気機械器具卸売業】	
・新型コロナの状況及び業界の対応(緊急事態宣言など)により見通しが立たない状況である【青果・水産物卸】	
・仕入単価の大幅な上昇、先行きの不透明感による消費低迷を見込む【鶏卵卸】	県北
・1年で一番売上がない時期なので不安である【清涼飲料卸売業】	
・特に宿泊関連が厳しい【米穀類卸】	
・コロナウイルスの長期化、豪雪による影響が徐々に出てくる【機械工具卸売業】	県南

県央
県北
県南

5 サービス業	
・頼みになっている国の予算(補助金)の支出に左右される【リネンサプライ業】	県央
・今期と同様、特別な状態である【普通洗濯業】	
・新型コロナの影響は極めて大きく、主力のバス事業の他、付随事業の日本航空受託事業も売上低下が著しい。 年度決算はかつてない大幅な赤字となる見込である【運輸業】	
・見通しが立たない(運輸業)	
・新規物件も少しは増えつつあるが、まだまだ回復していない【ビルメンテナンス業】	
・ますますひどい状況が続くと思われる【食堂】	
・自動車リース分野の売上増加を見込む【自動車整備・販売】	県北
・見通し立たず【IT関連】	
・売上が減少し、利益も少し下がる見通し【自動車整備】	
・大雪とコロナで好転する見通しがない【写真館】	県南
・これからコロナの影響がどの程度でるかわからない【広告代理店】	